

1 活動名

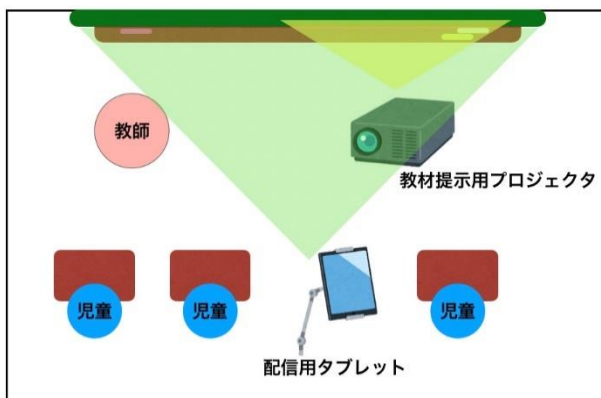
GIGA 端末を用いたオンライン授業（小学部）

2 対象

小学部児童

3 内容と取組の様子

GIGA スクール構想により整備された、iPad を用いて、オンラインによる授業を実施しました。授業の形態は教室に教師 1 名、クラスメート 3 名、自宅に児童 1 名で、国語、算数、理科、社会の学習をオンラインで実施しました。児童は、教科書を学校に置いていたため、教師が授業で使うページを iPad で撮影し、Google Classroom を用いて児童に送信しました。児童は Google meet と写真アプリを同時に開き（Split View）学習に参加した。一つの画面で教師の説明と教科書を見ることができ理解を深めることができたようです。



クラスメートからは、「A君が学校にいるみたい。」という発言もあり、教室内の児童もオンラインによる学習を自然に受け入れることができました。

また、児童（自宅生）は、聞こえが良かったため、iPad とロジャー（直接、補聴器に音声を送る装置）を接続し、クリアな音声を補聴器で視聴することができました。

4 使用したツール(システム・アプリ・ソフト・教材等)

Google Classroom

Google meet

iPad (2台 教材提示用 配信用) 三脚

5 おすすめポイント

- ・オンラインを活用して朝や帰りの SHR や授業をいつも通り実施することは、児童の生活リズムを崩さずに学習に取り組ませることができ効果的です。
- ・プリントは Google Classroom を用いて配信する。宿題はノートに書かせ、そのページを iPad で撮影し Google Classroom で送信させると教師はいつでも宿題を確認することができます。
- ・「友達に会えない。」「授業が遅れる。」といった生徒の不安解消につながります。

6 さらに工夫したいこと

- ・コミュニケーション手段が手話を主体としている児童に対し、手話と板書をどのようなバランスで提示する方法が良いのか、口形がタブレットを通してはっきり見える。
- ・窓からの光の入り方により板書の見え方が変わり、毎時間調整する必要性がありました。iPad をどの場所に置けば見やすいのか教室環境について工夫していきたい。
- ・理科のオンラインによる授業で、「流れる水の動き」という実験を配信した際、水が流れる様子は画面上では見えづらいことがありました。受信者が見づらい場面を想定した動画の編集を工夫したい。